

平成 25 年度の事業報告書

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 カリタス釜石

1 事業の成果

■概況

東日本大震災から三年目を迎える節目の一年は街の景観を大きく変えた。大型ショッピングセンターが開業し、これに伴い商店街の復興も加速し自力再建する店舗や住宅の増加が目につく。夜間でも人の往来があり、週末には若干の幹線道路の自然渋滞が見られるなど様々な変化があった。

サロン活動をしている中から、特に高齢独居世帯など自力再建にまで漕ぎ着けない住民や、様々な事情により再建の目処が立たない方々の焦りが募っている様子が窺がえた。被災後の生活からくるストレスは蓄積され、日々の我慢が限界に達し涙する方、不安定になる方が増加しているように感じる。三年目にしてやっと本音が語られ、震災以前からあった問題が被災体験とは別個にあったものとの認識が高まり、それらを含めた全てが自身の身の上で起こった現実であることを受け入れようとしている方も出てきている。したがって今後のサロン活動・傾聴活動はさらに重要なものになると考えられる。

■影響・効果・展望

この一年の活動を通して、被災された方々の心に変化が表れてきたことを寄り添い型支援の効果として実感している。

見守り支援活動やサロン活動においては、それまで我慢してきた悲しみや怒りや苦しみを吐露し、涙する場面に遭遇する機会が増えた。一度や二度会っただけの関係性ではなかなか本音を表現しない三陸沿岸特有の気質を考慮すると、寄り添い型の支援が受け入れられ信頼されていると考えてよいのではないだろうか。何度も個別に足を運び、耳を傾け、寄り添い続けたことによって住民との人間関係が深まり、その結果、住民の方々の感情を解放することに貢献したと思われる。

最近では住民同士で支えあう場面にもしばしば遭遇することがある。ご自身の友人や知人を心配し訪ねて欲しいなどの要請も受けるようになった。サロンの場が共同体形成に大きな役割を果たしていることの表れである。

急激なボランティア不足により人手が足りず一人で活動に行くと、仮設団地の住民方が自ら準備や後片付けを手伝ってくれる。被災後一年目には見られなかった光景である。サロンに顔を出さない常連を心配したり、新しく知人を誘って来場するケース、また、三年間ずっとお茶っこサロンののぼり旗を見てきた住民が、三年目にして初めてサロンに参加するようになったケースもある。これは継続の意義があり、今後も長く続けていかなければならない。

行政や社会福祉協議会及び他の支援団体からもボランティア派遣要請依頼が増加傾向にある。これは他の支援団体の相次ぐ撤退のなか、カリタス釜石の活動を継続している姿勢が認知されつつあることを表出しているように思われる。釜石市の慣例行事や復興企画、街づくり企画の実行委員会にも一会員として招かれるようになり、さらに、関係団体からは被災地復興支援の研修の場としてカリタス釜石のサロン活動が有効に活用されている。

また、釜石には DV（ドメスティック・バイオレンス）問題などを扱った団体がなく、被災地復興支援を行っている中から様々な悩みを抱えた女性がいることを知り、平成 25 年度は啓発活動として女性セミナーを 2 回行った。参加者からの質問が多く出たことから関心の高さが窺えた。次年度は、女性の生きづらさ、複雑・多様化する暴力（DV・性暴力・虐待）など、家庭や職場などの身の回りの様々な悩みを抱える人をサポートする人材を育成することを目的に「パープルリボンサポーター養

成講座」を全5回に渡り三社共催で実施する。

四年目に向かって新たな分野での活動、そしてこれまで通り継続が望まれる活動、それぞれ現状に則した要望に柔軟に対応していきたいと考えている。主に近隣の町内会自治活動には積極的に参加し、協力体制の強化、活性化に参加していく。

カリタス釜石を復興の拠点の一つとして広く住民方に提供していく方向性を示していきたいと考えている。

■主な活動内容

【サロン活動】

サロン活動実績（仮設住宅談話室、集会所等でのお茶っこサロン）

主体事業体	開催回数	受益者数	ボランティア数
カリタス釜石(ふいりあ)	363	4,696	1,143
釜石市社協生活ご安心センター(仮設住宅)	509	6,723	1,569
自治会(仮設住宅)	31	299	76
みなし仮設集会所	51	648	146
地域集会所サロン(町内会・応援センター)	27	299	42
計	981	12,665	2,976
(参考)見守り活動	130	440	150

- ・ 傾聴やお茶、手芸、映画上映会などを仮設住宅の談話室や集会所を利用して実施。また、その時のボランティアの特技を生かしてサロンの中で楽器演奏をしたり絵を描いたりすることもある。
- ・ 関係団体と共催してクリスマス会やもちつき大会、お花見などを実施。



【オープンスペース「ふいりあ」】

事務所の敷地内にオープンスペースを設けて近隣住民へのサービスや出会いの場、憩いの場として、さらには孤独防止の為に開放している。内容はサロン活動と同様だが、比較的広いのでコンサートをしたりフラダンス教室を開いたりと様々なイベントも開催。また、場所の提供として教育委員会や地区生活応援センターなどにも利用していただいた。また、男性の孤立・孤独化を防止する為に男性向けのゴルフレッスン会（毎週水曜）、お楽しみ卓球（月一回）などを企画実施。次はいつやるのかと毎回聞かれているほど好評な様子である。関係団体と共催して主に近隣住民を対象にもちつき大会や夏祭り、春祭りなども実施した。



【ボランティア派遣】

社会福祉協議会ボランティアセンターや他団体、近隣住民などからの派遣要請に応じている。

- ・子どもが安全に遊べるようにするための見守り
- ・福祉弁当の配達（社協・毎週金曜）

（身体的ハンデをお持ちの方へのお手伝いとして）

- ・本の代読サービス
- ・買い物の付添い など



【見守り活動】

- ・避難所時代からの継続した見守りや地区応援センターと連携した見守り
- ・各関係機関との情報交換会へ参加
- ・関係団体との共催で震災遺族を対象にした分かち合いの会を実施（毎月第2土曜13時～）

【女性サポート】

- ・ 第一回女性セミナー「3.11 と女性たち～復興支援活動における女性の活躍」
平成 25 年 11 月 17 日開催（講師：森脇妙紀氏、岩崎昭子氏）
- ・ 第二回女性セミナー「女性の力～いわての女性たちは今～」
平成 26 年 3 月 2 日（講師：平賀圭子氏）
- ・ パープルサポーター養成講座（釜石市男女共同参画室、母と子の虹の架け橋との 3 社共催）
※平成 26 年 5 月より全 5 回講座で開催



■ ボランティアの受け入れ

当団体では、事業を実施する為にボランティアの受け入れをしており、団体独自の活動の他、社会福祉協議会ボランティアセンターや他団体へのボランティア派遣も行っている。以前は一日につきボランティアの人数が 20 人 30 人が当たり前だった。しかし現在は、下記のように減少傾向にある。まだまだ被災地の復興支援にはボランティアが必要である。今後もボランティア確保の為、ブログの継続や支援して下さっているグループなどに活動報告を継続的に行っていく。

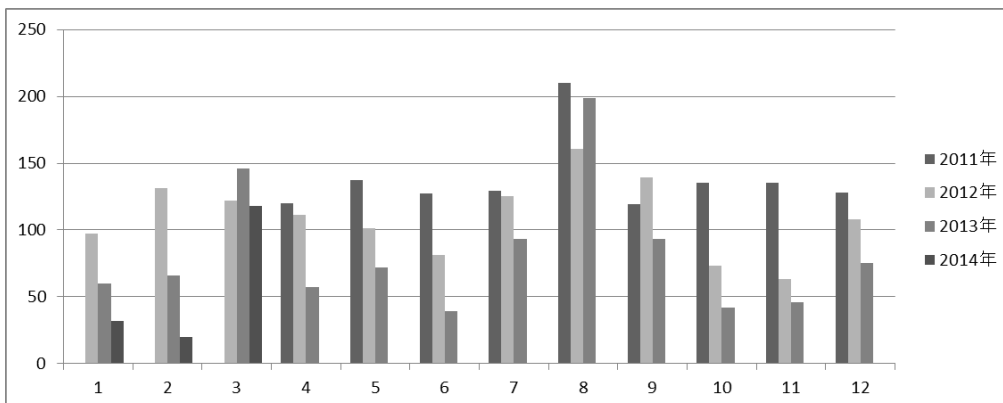
ボランティア受入数

(単位:人)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
女性	2011年				45	56	73	65	113	55	79	84	70	
	2012年	55	92	73	63	64	54	82	107	93	41	39	65	
	2013年	29	45	71	28	47	23	52	149	48	30	25	51	
	2014年	25	13	68										
男性	2011年				75	81	54	64	97	64	56	51	58	
	2012年	42	39	49	48	37	27	43	54	46	32	24	43	
	2013年	31	21	75	29	25	16	41	50	45	12	21	24	
	2014年	7	7	50										
計	2011年				120	137	127	129	210	119	135	135	128	1240
	2012年	97	131	122	111	101	81	125	161	139	73	63	108	1312
	2013年	60	66	146	57	72	39	93	199	93	42	46	75	988
	2014年	32	20	118	0	0	0	0	0	0	0	0	0	170
														3,710

(※1)参加者名簿から抽出

(※2)到着日を基準日とする



2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数
被災地復興 支援事業	(社) 社会福祉協議会 主催のサロン活動や 他団体事業へのボラ ンティアの派遣その 他見守り支援活動の 実施	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日	仮設住宅団 地及びみな し仮設住宅 団地 (16 ケ 所)、指定さ れた場所	スタッフ とボラン ティア延 べ 3,225 (名)	釜石市仮設住 宅団地及びみ なし仮設団地 住人の方々 延べ 16,069 (名) ※この他イベ ントについて 人数が数えら れなかったも のがある為、実 際はさらに受 益者がいます。
市民活動サ ポート事業	各種サロン活動の推進 によるコミュニティー の形成や生きがいつく りの支援また社協主催 事業等へのボランティア の派遣	平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日	仮設住宅団 地、集会所ま たはその他 指定場所	スタッフ とボラン ティア延 べ 125 (名)	釜石市内集会 所サロン、配食 サービス等延 べ 530 (名)
女性サポー ト事業	DV 防止活動を含む各 種啓発活動への取り組 み及び各種自助グルー プへの支援 (パープル リボンキャンペーン等 の宣伝活動、研修活動)	女性セミナー 第一回平成 25 年 11 月 7 日 (パ ープルリボン キャンペーン 同時開催) 第二回平成 26 年 3 月 2 日	釜石市青葉 ビル及び街 頭	スタッフ とボラン ティア延 べ 10 (名)	釜石市内全域 対象 セミナー参加 者 55 (名) キャンペーン 約 50 (名)

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者の人 数
	実施しなかった			